

がんばれ正直者

作詞作曲 清水信吉
編 曲 maru

「4章 テーマ曲」

いつだって壊されてしまうんだ
本当に大切なことほど
誰かだけが得をするために
奪われ続けるんだ

大きな想いほど
届かない世の中だな
あなたのためにやってきたのに
掌返して石を投げつけられても

頑張れ！僕はわかってるよ
嘘や誤魔化しのない君を
踏ん張れ！無力さが襲っても
救われた人がある限り

昔から壊されてきたんだ
本当に僕たちに必要なこと
悪魔と契約した人が
隠し続けてるんだー

幸せな願いほど
潰される世の中だな
みんなのために形にしたら
罪人のように叩きのめされるんだ

頑張れ！僕は聞こえてるよ
美しい心の叫び声が
踏ん張れ！誰も信じれなくても
救われる人がある限り

ああーいつの日か美しい世界が
人が人を傷つけない日々が来ると信じて

あー小林製菓

頑張れ！僕はわかってるよ
嘘や誤魔化しのない君を
踏ん張れ！無力さが襲っても

救われた人がある限り
救われる人がある限り

—信念と貫く勇氣—

様々な歴史を学べば学ぶほど、いつの時代にも、本当に人の役に立つ発明や、自然療法のような素晴らしい知恵があったことを知ります。

けれど、それらは利権が絡むにつれて徐々に消され、闇に葬られ、ときには犯罪者として扱われ、無念のままこの世を去った人たちが確かに存在していた——そんな事実、僕は衝撃を受けました。

これは決して大きな歴史の中だけの話ではありません。

僕たち一人ひとりにも、大切にしたい“正直な気持ち”や“信念”があると思うのです。

でも、それを口にしたとたん、多くの人から反対されたり、「頭がおかしい」と罵られたり、足を引っ張られたりすることもある。

それでも、嘘をつかずに正直な気持ちを発信し続ける人の味方でありたい。

そんな想いで書いた応援歌です。

ちょうどこの曲を書いたのは、小林製菓が大バッシングされていた時期。

メディアの報道を鵜呑みにせず、自分で調べてみた結果、そこには“もうひとつの真実”が見えてきました。

誰かが信念を貫こうとした時に、その姿が“異端”として切り捨てられてしまわぬように——

そんな願いも込めています。

